

令和5年度 学校経営計画書

石川県立門前高等学校

校長 中澤 賢

1 教育目標

- (1) ふるさに誇りを持ち、自ら学習を調整することで身につけた資質・能力を活用することにより、地域の活性化に貢献できる人間
- (2) 高い規範意識と活力に溢れ、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働できる人間

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 市や地域、同窓会、地元中学校と連携した教育活動を推進し、入学者数の増加につながる魅力ある学校づくりを推進している。
- ② 探究活動、ボランティア活動や部活動等とおして自主性を涵養し、個々の生徒の進路志望の実現に努めている。また、地域社会の創り手育成にもつなげている。
- ③ 多様な生徒の増加に伴い、インクルーシブ教育をはじめ、教職員の生徒理解力・教育相談力を高める必要がある。
- ④ 本校両コース（普通・キャリア）の特徴をより明確にした教育活動を推進し、広報する必要がある。
- ⑤ 目標管理型の校務運営に取り組み、効率的な分掌業務推進力と教科指導力の向上に努め、ワンランク上の成果につなげる必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 地域貢献活動とおして、地域振興の方策を提案・実践できる資質・能力・態度を育成し、将来地域を支える人材育成を進める。
- ② 部活動、生徒会活動、ボランティア活動と七尾特別支援学校輪島分校と連携したインクルーシブ教育とおして、他者を思いやり、尊重する心を育てる。
- ③ 卒業後の進路実現に向け、進路意識を醸成し、個々の目標達成に向けて、自主的に努力できる生徒を育てる。
- ④ G I G Aスクール構想とおして、個別最適な学びによる学力向上を図り、進路実現につなげる。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 生徒の目線で自己の教科・生徒指導を振り返り、教科指導力・生徒理解力を高める工夫・改善に取り組む。
- ② 連携型中高一貫教育校の特徴を活かした学習をはじめとする教育活動を充実させる取り組みを推進している。
- ③ 市町の行事やボランティア活動、探究活動等への取組を推進し、地域貢献できる人材の下支えとなる資質・能力を涵養する。
- ④ 本校両コースの特徴を理解し、充実させる教育活動に取り組み、外部に広報できる。
- ⑤ 目標管理型の教科指導・分掌業務を効率的・戦略的に推進し、ワークライフバランスとの両立を図りながら、質の高い教育活動を実践する。

3 今年度の重点目標

- (1) 探究活動やボランティア活動とおして地域活性化に貢献する資質・態度を育成し、地域を支える人材を育成する。
- (2) G I G Aスクール研修とおして、個別最適な学びにつなげる教科指導力の向上と両コースの特徴の充実を図り、生徒の多様な進路実現につなげる。
- (3) 教員の生徒理解力、教育相談力、危機管理能力の実践力向上に努め、生徒の心理的安全性を保障する。
- (4) 目標管理型校務運営を組織的・協働的におこない、業務改善を進め、ワークライフバランスと教育活動の両立を実践する。
- (5) 連携型中高一貫校の特徴を活用した教育活動のさらなる充実を図る。